



発明届出書(1)

国立大学法人電気通信大学 産学官連携センター長 殿

本届出書記載の発明について国立大学法人電気通信大学職員の職務発明等に関する規程第6条の規定に基づき届け出ます。

提出日: 20xx 年 xx 月 xx 日

発明の名称: ○○○○装置とその動作方法
「装置、方法、工程、プログラム」等の文言で締め括って下さい。

発明の概要: (130 字程度)
 XXXXX.....
発明の構成・手段の概要と、この発明によって得られる効果を簡潔にご記入下さい。

発明の用途: XXXXX.....
本発明を適用する分野・物品等をご記入下さい。
発明者には、真に発明に寄与した者のみご記入下さい
 (例: 単なる管理者・後援者・実験補助者は発明者ではありません)
 新規な①着想の提供・②着想の具現化 に貢献した者をご記入下さい
 ※ 特許出願後の発明者の追加・順位の変更は大変困難です

①発明者氏名(寄与率順に記入)	教員・研究員(所属・職名) 学生(学籍番号・学科名及び専攻名) 学外発明者(会社名・所属部署等)	①E-mail アドレス	発明の技術的寄与率(合計 100%)
① 電通 太郎 ② Taro Dentsu	情報通信工学科(C)・教授	① taro@xx.uec.ac.jp ② 52xx	30%
① ジョン フレデリック ケイジ ② John Frederick Cage	0930XXX・情報通信工学専攻(EC-J)	① john@xx.uec.ac.jp ② 090-yyyy-yyyy (内線:53xx)	20%
① 電通 花子 ② Hanako Dentsu	国立大学法人 ○○○○ 大学 工学部・XX 学科・准教授	① hanako@xx.xx.ac.jp ② 03-zzzz-zzzz (内線:zzzz)	20%
① 共願 次郎 ② Jiro Kyogan	(株)共願 ○○○ 技術開発部	① jiro@yy.yy.co.jp ② 03-zzzz-zzzz (内線:zzzz)	10%
① 共願 三郎 ② Saburo Kyogan	(株)共願 ○○○ 技術開発部	① saburo@yy.yy.co.jp ② 03-zzzz-zzzz (内線:zzzz)	10%

■ 第 6 発明者以降は最終頁のその他欄に記載 ⇒ 合計発明者数 6 名

共同出願の予定: あり なし
共同出願人名: 国立大学法人 ○○○○ 大学、(株)共願会社名 ○○○ 技術開発部
 ■ 共同出願人検討依頼書 ※他社との共同出願の予定の場合、必ずご提出下さい

公表の有無: なし あり 予定あり
公表日(予定日): 年 月 日(予稿集発行日: 年 月 日) **発明の完成日:** 年 月 日(公表済みの場合)
種別: 学会発表 学内発表 Web TV 刊行物・新聞・雑誌
詳細: 学会名・刊行物名・URL等をご記入下さい
すでに公表している発明を届出するときは、発明の完成日をご記入ください。

研究経費の種類: 運営費交付金 政府系資金(独法からの受託も含む) 共同研究(企業) 共同研究(企業以外)
受託研究(企業、大学、財団法人) 科学研究費補助金 奨学寄附金 その他
詳細: 共同研究、受託研究の相手先名及び研究題目、政府系資金のプロジェクト名、その他経費の詳細等をご記入下さい

外国出願の希望: なし あり
 希望国: 米国・中国・韓国・イギリス・ドイツ・フランス
 理由: 本発明用途のメーカーの本社・工場がある為
外国出願をするために JST へ費用支援の申請をします。審査レベルは非常に高く慎重にご判断願います。

先行技術調査: 実施済み 未調査 ※特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)での特許調査をお勧めします→<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/web/all/top/BTmTopPage>
先行文献: 関連特許・論文・著作物等をご記入下さい
 ・特開 2007-XXXXXX
 ・論文:『○○○と○○○による研究』(Journal of XXXX, 2009.vol.01)
 ・著作物:○○○に関する○○○(XX 書店、2009 年発行)
公表日・公表種別によっては、国内又は外国で特許取得ができなくなることがあります。既に公表した場合ご相談下さい。(外国での学会発表要注意!!)

コメント等(発明者、研究室、知的財産部門)	受付番号	担当 IPM	受付者
第 2 発明者である John Cage の国籍はオーストラリアです。来年度から国立大学法人 ○○○○ 大学へ所属が変更する予定です。			

特許出願に要する準備期間は、打合せから少なくとも 2ヶ月の準備期間が必要です。
緊急を要するときには、その理由を明記下さい。

発明届出書(2)

発明のポイント	出願明細書中の『特許請求の範囲』(クレーム)となるところです。発明のポイントが複数あるときには、1,2,3,・・・の項目を付してその全てをご記入下さい。
---------	--

1. XXXXX・……………

2. XXXXX・……………

背景技術とその問題点	出願明細書中の『背景の技術』(従来技術)となるところです。従来(既存)の技術とその問題点を、参考論文、文献、特許公報、Web サイト等をできるだけ引用してご記入下さい。
------------	--

XXXXX・……………

発明届出書(3)

発明の具体的説明(1)	出願明細書中の『発明を実施するための最良の形態』となるところです。この発明を実施するに、最良と考える実施例の全体像・細部の構成、動作、作用、また変形例などを図面、グラフ、フローチャート、実験データなど用いてできるだけ詳しくご説明下さい。(添付可)
-------------	---

XXXXX.....

発明届出書(4)

発明の具体的説明(2)	出願明細書中の『発明の効果』となるところです。この発明を実施することによって得られる効果を出来るだけ沢山ご記入下さい。
-------------	---

1. XXXXX・……………

2. XXXXX・……………

3. XXXXX・……………

その他	記入スペースが足りないときは任意の用紙をご利用下さい。 第6発明者以降の情報は、下記表にご記入下さい。
-----	--

	①発明者氏名(寄与率順に記入) ②氏名の英字表記(First/Middle/Family)	教員・研究員(所属・職名) 学生(学籍番号・学科名及び専攻名) 学外発明者(会社名・所属部署等)	①E-mail アドレス ②電話番号(外線・内線・携帯電話等)	発明の 技術的 寄与率 (合計 100%)
6	① 共願 四郎 ② Siro Kyogan	(株)共願 〇〇〇 技術開発部	① siro@yy.yy.co.jp ② 0X-XXXX-XXXX (内線:XXXX)	10%
7	① ②		① ②	%
8	① ②		① ②	%